

鮎貝まちづくり事業調査特別委員会（2月26日）

主な報告事項

- (1) 平成25年1月31日
保留地処分終了
（残保留地17区画 面積7037.52㎡）
平成25年2月8日
町への寄付申し込みを受ける。
- (2) 平成25年2月25日
残保留地の寄付と寄付金の受領
寄付金700万円（寄付区画地を処分するために必要な経費の一部相当額）
寄付金900万円（調整池など、施工管理上必要な経費の相当額）
剰余金配分額は190万円から230万円の見込み
- (3) 平成25年3月31日
鮎貝土地区画整理組合総会、清算総会
- (4) 平成25年4月1日
寄付区画の管理は白鷹町土地開発公社へ委託する予定。
販売を主とするが、住宅政策など行政目的にも使用可能か検討。



四季の郷駅から望む町並

総務厚生常任委員会（3月7日）

所管事務調査の議題

- (1) 庁舎等公共施設再配置計画
- (2) 公共施設の跡地利用に関する基本方針
- (3) 地域情報化計画
- (4) 環境基本計画
- (5) エネルギー計画
- (6) 健康増進計画（中間報告）
- (7) 子育て支援拠点施設の整備状況

当局の主な答弁から

- ・ 庁舎については新築と考える。今のところ補助財源はないが、国・県と調整しながら財源を確保したい。
- ・ 図書館は単独か、複合整備かはあるが新築をしていきたい。
- ・ こぐわ、あゆかい、なかやま保育園、ふるさと子供交流館は、補助金の返還はなし。
- ・ 情報センターの今後に関しては、サーバーが残るため完全に関わりがなくなるものではない。
- ・ 県企業局で出力2000kWの中小水力発電を黒鴨地区で検討していて、平成25年3月から1年で現場の調査を行うもの。
- ・ 健康まつりは、ボランティアのみなさんが一生懸命努力されている。ここ2年は、400人の入場者で推移している。
- ・ 子育て支援拠点施設に出入する車の安全確保は、交通安全協議会の方と協議をしている。

産建文教常任委員会（3月8日）

請願審査

TPP交渉参加反対に関する件について

所管事務調査の議題

- (1) 公共建築物等における木材の利用促進に関する基本方針（案）
- (2) 農地における積雪の状況と対応
- (3) 文化交流センター（あゆーむ）ホール入り口付近の傾斜を現地調査
- (4) 統合中学校の準備状況
- (5) 鷹山小学校の再編整備
- (6) 主要地方道路長井白鷹線（荒砥橋架替）道路整備事業

当局の主な答弁から

- ・ 町産材を使用するという姿勢は必要。森林所有者のメリット、財源の手当てなど課題もあり、単価が高くては実現できない。長期的展望に立って総合的に検討。
- ・ 融雪資材として、てんろ石灰を10アールあたり40kg助成するもの。
- ・ 「あゆーむ」については、今後2年間、半年に1回と、震度4以上の地震発生時に設計業者と施工業者による測定を行う。その結果をみて対応を検討する。
- ・ 鷹山小学校の統合は、最短で平成26年が望ましいということの説明をしている。